

### 第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

#### 女子準決勝

試合日	2023年2月12日
会場	エコパアリーナ
コート	Aコート
開始時間	9:30

TEAM A		TEAM B															
安城学園 (愛知)	51	岐阜女子 (岐阜)															
	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>-</td><td>26</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>11</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	11	-	26	13	-	19	16	-	21	11	-	19		OT		
11	-	26															
13	-	19															
16	-	21															
11	-	19															
	OT																

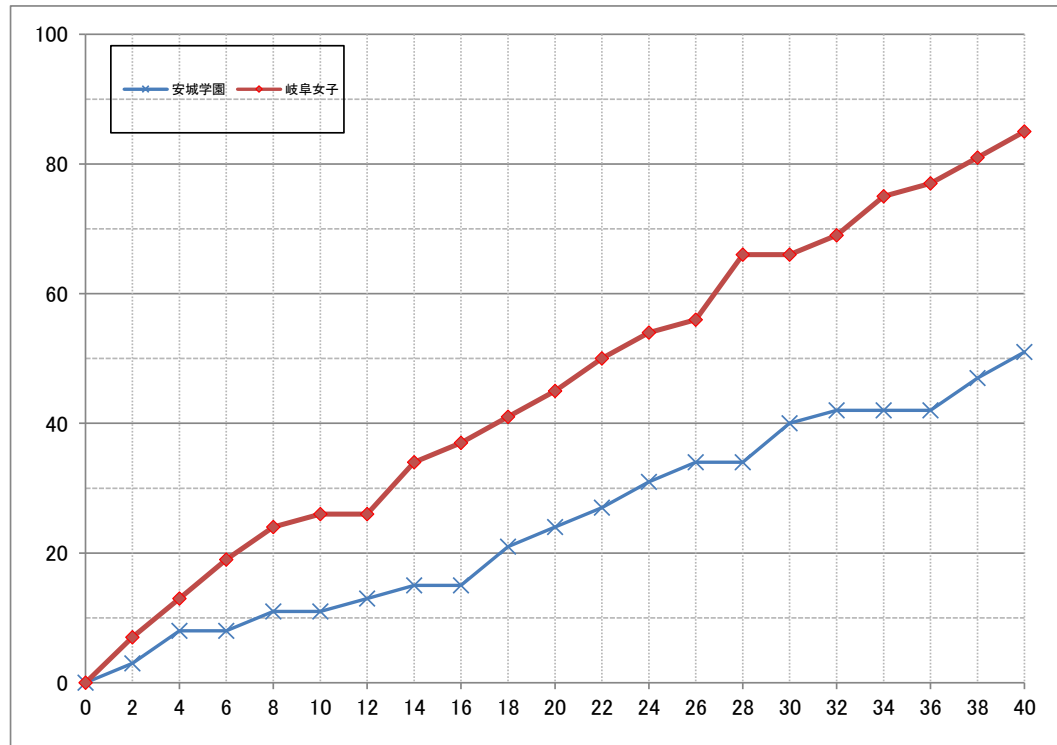
#### TEAM A 安城学園 (愛知)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	西田 美咲	8	0	3	2	1
5	*	村田 優希	12	0	4	4	1
6	*	渡邊 藍	2	0	1	0	2
7		和田 幸葉	2	0	1	0	0
8	DNP	玉山 寧々	0	0	0	0	0
9	*	杉本 七海	9	1	2	2	2
10	DNP	吉岡 美咲	0	0	0	0	0
11	*	宮田 彩葉	10	2	1	2	2
12		三浦 心愛	6	2	0	0	2
13	DNP	岩崎 美波	0	0	0	0	0
14	DNP	中谷 結菜	0	0	0	0	0
15		大越 泉実	2	0	1	0	2
16		佐藤 ほか	0	0	0	0	0
17	DNP	縄 鈴花	0	0	0	0	0
18	DNP	三田 あゆみ	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			51	5	13	10	12

#### TEAM B 岐阜女子 (岐阜)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	粕野 夏海	21	5	3	0	0
5	*	原田 倫	0	0	0	0	1
6	*	林 琴美	0	0	0	0	1
7	*	平山 真穂	21	0	10	1	1
8	*	ジュフ ハディジャトゥ	2	0	1	0	2
9		吉井 彩乃	2	0	1	0	2
10		柴田 緑	14	1	5	1	1
11		高桑 利加	8	0	3	2	1
12		安藤 美優	8	2	1	0	0
13		古田 桃海	0	0	0	0	2
14		荒谷 羽音	3	1	0	0	0
15		久下 寧々	2	0	1	0	0
16		世森 びわ	2	0	1	0	1
17		竹内 悠	0	0	0	0	1
18		津村 優月	2	0	1	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			85	9	27	4	13

#### 【 得点経過 】



#### 【 戦評 】

1Q  
女子準決勝。安城学園3-2ゾーン、岐阜女子マンツーマンで試合開始。試合の序盤から安城#9杉本の連続得点、岐阜女子#8ジュフのインサイドからの得点で、互いに点を取り合う展開になると思われた。しかし、岐阜女子が交代メンバーも含めて満遍なく得点を積み上げて主導権を握る。対する安城学園は岐阜女子のディフェンスがなかなか崩せず、攻撃の決め手に欠け、思うように得点が伸びない。安城学園の攻撃が停滞している間に岐阜女子は外角のシュートを落ち着いて沈めて着実に得点を伸ばしていき、安城学園もディフェンスをマンツーマンに切り替えて勢いをつけようとするもののリズムを変えるには至らない。11-26、岐阜女子のリードで1Q終了。

2Q  
2Qに入っても岐阜女子の優位は揺るがず、#4粕野、#12安藤の精度の高い3Pで加点していく。安城学園はフロントコートからのプレッシャーディフェンスやハーフコートオフェンスで運動量を増やして得点の機会を増やそうとするも得点に繋がらない。#4西田、#5村田がゴール下で粘りを見せて攻勢に出たい安城学園だが、岐阜女子に揺さぶりをかけるには至らない。終始落ち着いたバスケットを展開した岐阜女子が24-45でリードを広げて前半が終了。

3Q  
後半に入っても試合の流れは変わらない。安城学園#12三浦が1on1からズレを作って3Pを沈めるも、岐阜女子#4粕野がすかさず3Pを決め返す。#7平山のインサイドを中心に、内外バランスよく得点を重ねる岐阜女子が徐々に点差を広げていく。一矢報いたい安城学園であるが、岐阜女子のディフェンスがそれを許さない。40-66、岐阜女子が優位を保ったまま3Q終了。

4Q  
最終クォーター、岐阜女子は控えの選手を出して主力を休ませるも、チームカに頼りは見えず層の厚さを見せつける。安城学園は積極性を失うことなくリングにアタックして岐阜女子のファウルを誘う。岐阜女子の背中が遠くなっていく中、オールコートのプレッシャーディフェンスを継続してチャンスを狙う安城学園であるが、岐阜女子がこれを軽くいなして捕まられない。試合を通して安城学園を寄せ付けなかった岐阜女子が51-85で勝利を取って決勝戦へ弾みをつけた。